

# 事業報告書

事業名	ICT を活用した研修提供体制基盤充実事業
事業の実施状況	<p><b>1. e-ラーニング講座への字幕の挿入</b></p> <p>聴覚障害者等の自己研鑽に資するため、2020年度までに作成した基礎研修の講義 33 講座分の e-ラーニングへの字幕の挿入を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①生涯研修制度</li><li>②日本社会福祉士会の組織</li><li>③社会福祉士のあゆみ</li><li>④社会福祉士に共通する専門性の理解</li><li>⑤倫理綱領・行動規範の理解</li><li>⑥実践研究の意義と方法</li><li>⑦実践研究のための記録</li><li>⑧実践評価・検証の方法</li><li>⑨実践研究発表の方法</li><li>⑩相談援助の視座と展開過程</li><li>⑪実践のためのアプローチ</li><li>⑫自立生活支援をコミュニティソーシャルワーク</li><li>⑬社会福祉士における法Ⅰ</li><li>⑭社会福祉士における法Ⅱ</li><li>⑮ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ</li><li>⑯ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ</li><li>⑰社会資源の理解と社会資源開発</li><li>⑱連携システムのあり方とネットワーク構築</li><li>⑲地域における福祉政策と福祉計画</li><li>⑳社会福祉調査の方法と実際</li><li>㉑スーパービジョンとは</li><li>㉒スーパービジョンのモデルセッションを見る</li><li>㉓対人援助と事例研究</li><li>㉔事例研究の枠組み</li><li>㉕事例研究の方法としてのケースカンファレンス</li><li>㉖事例研究のための事例のまとめ方</li><li>㉗意思決定の支援</li></ul>

- ⑳地域における福祉活動の実際
- ㉑社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営
- ㉒福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント
- ㉓リスクマネジメントと苦情解決システム
- ㉔スーパービジョンのモデルセッション
- ㉕新人教育プログラム

## 2. コンテンツの企画・制作

独立型社会福祉士養成研修（集合研修と e-ラーニング講座の組合せ）の集合研修のうちの 2 講義を e-ラーニング講座として事前視聴することで、集合研修においてより内容を深める講義・演習を可能とするとともに、修了後に実務に際して繰り返し視聴できるようにした。

なお、2021 年度の集合研修の実施は、コロナ禍対応のため Zoom を活用した同時双方向性を担保したオンライン研修とした。

- ①事業計画
- ②独立型社会福祉士名簿登録

## 3. 生涯研修制度管理システムの改造

e-ラーニング講座の履歴管理について、都道府県社会福祉士会においても所属の会員の研修情報を確認できるようにシステムを改修した。

## 4. e-ラーニング講義の配信

### (1) 配信期間

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日（365 日 24 時間配信）

### (2) 配信数

2022 年 3 月 28 日現在 92 本配信中

### (3) 視聴者数（会員でない社会福祉士、一般を含む）

2022 年 3 月 22 日現在 ログイン者数は約 8,600 名

## 事業の成果

### 1. e-ラーニング講座への字幕の挿入、コンテンツの企画・制作、e-ラーニング講義の配信

基礎研修は、入会した社会福祉士会会員が3年間かけて受講する研修であり、本会では、社会福祉振興・試験センターの助成を受け、2020年度までに講義部分についてe-ラーニング講座の制作を行った。講義部分をe-ラーニング講座の事前視聴と小テストとし、その後に演習部分を実施することで、研修受講をしやすくするとともにより効果的な学習ができるようになったが、聴覚障害など聞こえに障害を持つ方の学習には課題が生じていた。受講者にUDトーク等のアプリを使用させていただくなどの検討も行ったが、専門用語の変換などに課題があるため、作成した基礎研修e-ラーニング講座について、追加で字幕の挿入を行うことにより、聞こえに障害を持つ方々のスムーズな受講ができるようになった。

2020年末のe-ラーニング講座のログイン状況は約4,800名であったが、2021年度末のログイン状況は約8,600名であり、コロナ禍においても、社会福祉士の継続的な学びを支援することができた。

### 2. 生涯研修制度管理システムの改造

e-ラーニング講座の履歴管理について、都道府県社会福祉士会においても所属の会員の研修情報を確認できるようにシステムを改修した。これにより、都道府県社会福祉士会において所属の会員の「基礎研修」のe-ラーニング講座受講状況を適宜確認できることとなり、都道府県社会福祉士会において研修運営をより円滑に行えるようになった。